

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、(公財)京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、職住共存地区整備ガイドプラン、新・京都市南部創造まちづくり推進プラン、らくなん進都(高度集積地区)まちづくり推進プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	28年度	29年度	30年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 地区計画、建築協定及び景観協定の締結数(件)	c	d	135	136	4件増	25.0%	d	1.00	
2 景観・まちづくりに関する相談件数(件)	b	b	899	926	788件	117.5%	b	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	28年度	29年度	30年度回答					有効回答者数	評価
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	c	c	13 3.0%	118 27.6%	207 48.4%	62 14.5%	28 6.5%	428	c
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					29 年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	c	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
<p>(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。</p>						28 年度	C
<p>(原因分析) 客観指標総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・「景観・まちづくりに関する相談件数」が増加しているように、景観やまちづくりに対する関心は高まっているものの、「地区計画、建築協定及び景観協定の締結数」については、締結等を希望する地域は複数あるが、地域の機運醸成や合意形成に時間を要し、年度内の締結に至らなかった地域も多く、締結数が1地区にとどまったため、c評価となった。</p> <p>(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市内各地で都市計画手法の活用を含めた多様な施策を総合的に推進しており、それに伴い各地域で自主的なまちづくり活動が行われているが、まちづくり活動に関心のある一部の市民にとどまっておらず、現在のところ市民の実感を得るには至らず、昨年度に引き続きc評価となっている。</p>							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	まちづくり条例の運用	7,894	8,064	—	都市計画局
2	まちづくりに係る調査・企画・支援事業	32,102	43,749	良い	都市計画局
3	都市計画運営経費	143,850	148,014	良い	都市計画局
4	京都市景観・まちづくりセンター	101,756	104,115	—	都市計画局
5	魅力あるまちづくりを目指した持続可能な都市の構築の検討	27,292	32,367	—	都市計画局
6	復興イメージトレーニングを活用した事前準備方策検討	6,146	4,220	—	都市計画局
7	洛西口～桂駅間プロジェクトの推進	0	46,142	—	都市計画局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・自主的なまちづくり活動をこれまで以上に進めるため、地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、(公財)京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくりに関する情報提供、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。
 ・(公財)京都市景観・まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり
-----	------	-----------------

指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）
-----	------------------------

担当課	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
-----	------------	-----	----------

1 指標の説明

地区計画、建築協定及び景観協定の締結数

2 指標の意味

地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	135	136	1件増	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（平成23年度から155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	25.0%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

5 評価基準

前回数値と比較し、
a：4件以上増
b：3件増
c：2件増
d：1件増
e：0件以下

6 基準説明

・目標値を達成すればa評価
・以下1件刻みでb～e評価

※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。

7 評価結果

28	29	30
c	d	d

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）
-----	---------------------

担当課	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503
-----	------------	-----	----------

1 指標の説明

（公財）京都市景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数

2 指標の意味

市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	899	926	27件増	788件	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	117.5%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

5 評価基準

目標数値と比較し、
a：130%以上
b：110%以上130%未満
c：90%以上110%未満
d：70%以上90%未満
e：70%未満

6 基準説明

・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定
・20%刻みでa～e評価

7 評価結果

28	29	30
b	b	b